蔵王嶽
広報
かじき
No.373
昭和60年
11月号
題字　東町長
発　行　加治木町
編　集　総務課

マツタケ

庶民の食卓からは縁遠くなってしまったマツタケですが、いったい今、どのくらい採れているのでしょうか。

林野庁の調べでは、昨年の国内生産高は約百八十トン。国民一人当たりにすると、一・五グラムという微量です。

マツタケ菌はデリケートな菌なので、落ち葉かきや下草刈りなどの手入れを怠ると、他の菌に負けて生えにくくなってしまうのだそうです。

木枯らしが吹き始め、なべ物など暖かさが恋しい季節。

十一月二十六日から十二月二日まで「秋の全国火災予防運動」が行われます。

火の取り扱いには十分注意しましょう。

しいたけの収穫が始まる(新実行さんの山林で)

◆人口23,232人(△11)　男10,941人(△23)　女12,291人(＋12)　世帯数 8,069(△13)　60.10.1現在(　)前月比

59年度の決算を認定

第3回町議会定例会

第三回町議会定例会は、九月二十五日から十月二十一日までの二十七日間の会期で開かれ、一般会計補正予算や五十九年度の決算認定などの議案十五件を審議し、可決しました。

また「昭和六十年生産米・麦価と農畜産物の輸入自由化反対について」の陳情一件を採択したほか「シートベルト・ヘルメット着用に関する決議」を行いました。

一般会計

歳出総額は四十一億六百三十七万九千円

一般会計の決算額は、歳入総額四十一億八千九百五十七万八千円（五十八年度・四十六億七千二百九十五万六千円）、歳出総額四十一億六百三十七万九千円（五十八年度・四十五億三千四百三十万七千円）となっています。

この差し引き額八千三百十九万八千円のうち、四千三百万円を決算積立金として財政調整基金に繰り入れ、その残額四千十九万八千円（五十八年度・六千八百六十四万八千円）を、六十年度の財源として繰り越しました。

自主財源は四十七・九パーセント

歳入の内訳をみると、町税などの自主財源は二十億七百七十八万九千円で決算額の四十七・九パーセントを占めており、一方、国や県への依存財源は二十一億八千百七十八万九千円となっています。

自主財源のうち町税は十三億一千九百八十四万七千円で、一人当たりの町税負担額は五万九千三百三十八円（五十八年度・五万四千百六十九円）となっています。

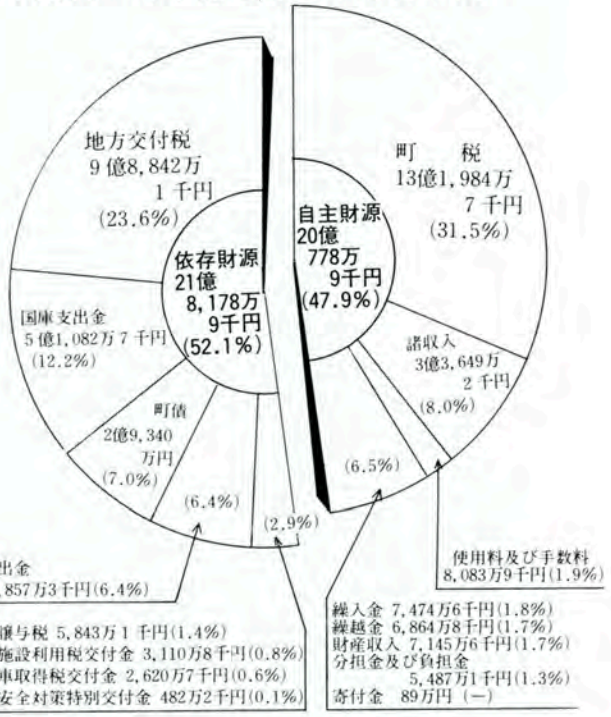
依存財源の主なものは、地方交付税が九億八千八百四十二万一千円、国庫支出金五億一千八十二万七千円、町債（町の借金）二億九千三百四十万円、県支出金二億六千八百五十七万三千円などで、地方交付税が歳入の大きな割合を占めています。

完成した保健センター

加治木小学校は一部簡易保険の融資を受けています

一般会計決算の内訳

▽歳入　41億8,957万8千円



▽歳出（性質別）41億637万9千円

加治木小学校建設事業や町道の整備を実施

五十九年度中に実施した主な事業と事業費は、次のとおりです。

▽木田本通線四千五百万円▽塩入川河川改修事業七百五十万円▽農業基盤整備事業三千三十万円▽町道整備事業（小山田線）六千万円▽その他事業（岩原本通線特定交通安全施設）一千三百二十万円▽農道整備事業（迫上地区）一千万円▽保健センター建設事業九千百七十三万七千円▽その他事業（日木山歩道橋）二千五百四十五万円▽住宅宅地関連公共施設整備促進事業（仮屋馬場通線）九千万円▽臨時地方道整備事業四千万円▽臨時河川等整備事業二千五百万円▽消防施設整備事業（自動車購入、防火水槽）三百八十九万円▽橋梁整備事業（竜門橋）四千五百九十万円▽スクールバス購入（柁城小学校）六百九十七万円▽加治木小学校建設事業（校舎）二億一千六百十七万二千円（用地）一億二千百八万九千円（造成）七百八十五万円▽公園整備事業一千百万円

3億2,906万2千円を追加

一般会計補正予算

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ三億二千九百六万二千円を追加し、予算総額は四十五億八千六百三十一万九千円となりました。

追加された主なものは、次のとおりです。

▽西部衛生処理組合負担金五千五百四十万九千円▽農村基盤総合整備事業（中田工区ほ場整備工事請負費）一千二百九十五万円▽土地改良事業（壱丁田地区かんがい排水工事請負費七百七十六万円▽農業構造改善事業（辺川上地区暗きょ排水工事ほか）三百八十四万円▽みどりの郷土づくり事業四百七十万円▽間伐対策事業（作業道開設工事請負費・桃木野線）四百万円▽県栽培漁業協会出捐金百三十五万二千円▽道路新設改良費（町単独分）二千万円▽道路舗装費四百万円▽小鳥公園工事請負費二百万円▽加治木港港湾改修事業負担金九百四十三万二千円▽農業用施設災害復旧費（農地災害・古滝地区ほか十二件）一千九百六十七万八千円（施設災害・口ノ町地区ほか）一千二百七十二万二千円▽林道災害復旧費（長尾山線復旧工事請負費）四百十二万二千円▽現年災害復旧工事請負費（毛上・提水流線ほか五件）一千五百八十九万四千円▽住宅災害復旧費（朝日町住宅改修工事請負費・十二戸）二百六十二万八千円▽その他公共施設災害復旧工事請負費（教職員住宅ほか）三百五十九万円…など。

小鳥公園を建設

町教育委員会委員に

榎田静雄氏を任命

榎薗明委員の任期満了に伴い、町教育委員会委員に楠原の榎田静雄氏（五五）を任命することに同意しました。任期は四年間です。

シートベルト・ヘルメット着用に関する決議

交通事故をなくし、明るく豊かで、住みよい地域社会をつくることは、町民共通の願いである。

しかしながら、交通事故、とりわけ悲惨な交通死亡事故は各種の安全対策が講じられているにもかかわらず依然として後を断たず、多くの尊い人命が失われていることは、まことに遺憾といわざるをえない。

我々は、シートベルト・ヘルメットの着用が交通死亡事故の防止に大きな威力を発揮し、更に運転者の安全運転意識の高揚に欠くことのできないものであることを強く認識して、シートベルト・ヘルメットの着用を実践しようとするものである。

今般のシートベルト着用義務の法制化を契機に、本町議会はここにシートベルト・ヘルメットの着用を決議し、その輪を全町民に広げ、安全で快適な〝くるま社会〟をつくることを宣言する。

昭和六十年十月二十一日

加治木町議会

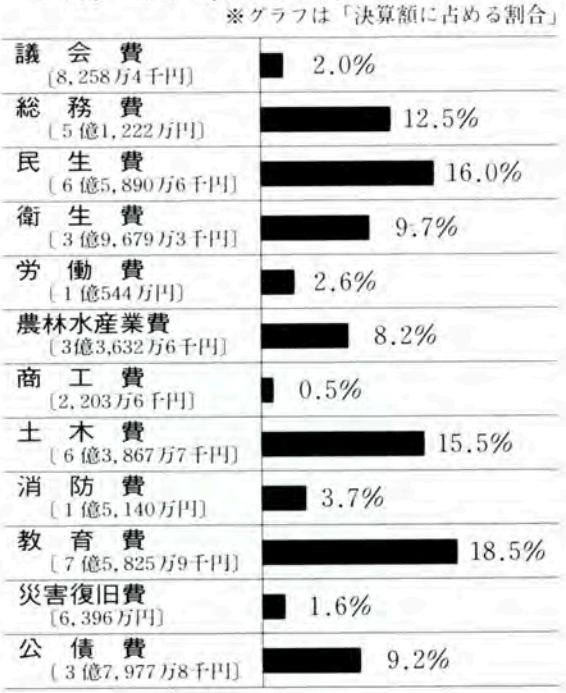
特別会計の決算額

特別会計	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
国民健康保険事業	9億2,608万9千円	8億9,526万9千円	3,082万円
簡易水道事業	1,110万2千円	1,095万5千円	14万7千円
地域下水処理事業	2,419万4千円	2,357万9千円	61万5千円
老人保健医療事業	9億6,691万3千円	9億4,135万3千円	2,556万円
農林業労働者災害共済事業	386万4千円	364万5千円	21万9千円

一般会計決算の内訳

▽歳　出（目的別）

※グラフは「決算額に占める割合」



老朽管の敷設替えを実施

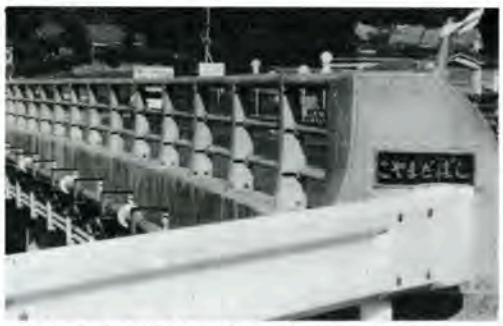
五十九年度水道事業決算

町の水道事業は、人口の増加、生活水準の向上により年々伸びを続けています。

五十九年度の給水実績は、給水人口二万百二十六人（推定）、給水戸数七千九百二十一戸で、給水区域内の普及率は九十九・七パーセントとなりました。

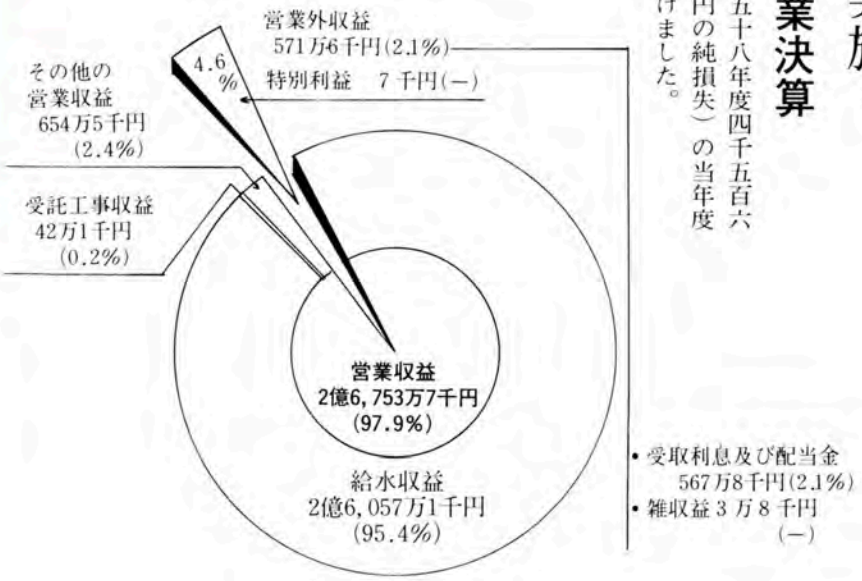
また、改良工事は、小山田地区の一部の既設老朽管の敷設替えや配水管新設工事を行い、低圧解消等に努めるとともに、消化栓を四基設置しました。

水道事業収益は二億七千三百二十六万円（五十八年度二億七百五十二万円）で、水道事業費用は二億五千七百五十万円（五十八年度二億五千三百十五万四千円）となり、損益勘定では一千五百七十五万九千円（五十八年度四千五百六十三万四千円の純損失）の当年度純利益をあげました。

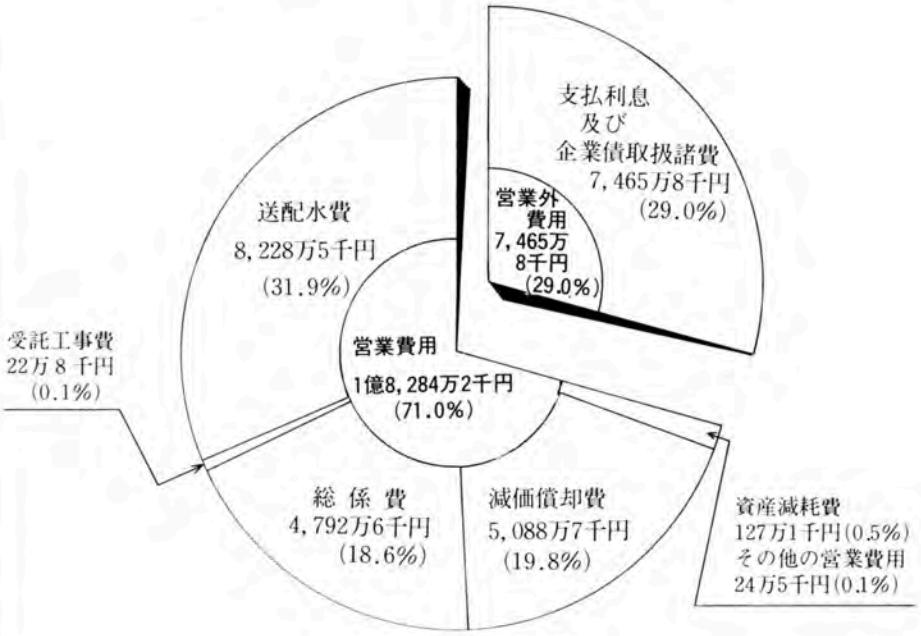


小山田橋の橋りょうに配水管を添架

▽水道事業収益　２億7,３２６万円



▽水道事業費用　２億5,７５０万円



冬の水道管　水道管も風邪をひきます

毎年冬になると、水道が凍ったり、破裂したりすることがあります。

むき出しになっていたり、北側や風あたりの強いところにある水道管はやさしくいたわりましょう。

そろそろ寒くなってきたなと思ったら、冬越しの準備をお始めください。

☆凍るのを防ぎましょう

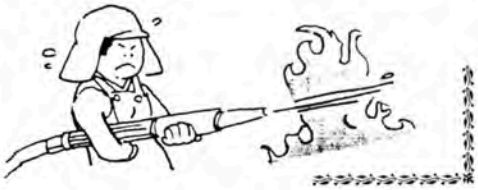
水道管に布などを巻いて保温しその上からビニールテープなどをしっかりと巻きつけ、保温材がぬれないようにします。

☆凍った水道管は、やさしく……

水道管が凍ってしまったら、そのまま自然に溶けるのを待つか、ぬるま湯をかけてゆっくり溶かしてください。急に熱湯をかけると管や蛇口が破裂することがあります。

わが家の防火対策

火事はせっかくのマイホームを一瞬のうちに灰にします。また隣近所をまきぞえにすることも必至です。火災ほど何ものこらない災害もありません。どんなに上手に消火するより、まず防火。そして、もしも出火してしまったら、小さいうちに消し去る。家庭防災の責任者、奥さまならそのテクニックが必要です。



出火から三分以内が消火のチャンス

一一九番を回しても、消防車はすぐにやってくるわけではありません。火元に到着するには数分かかります。ところが、被害を少なくすませるには初期消火のできる三分以内が大切。〝火事〟と思ったら、大声を出して近くの人に応援を求め、多くの人に参加してもらって消すことです。

火災で室温が上がってくると、壁や天井から可燃性のガスが出てこれに引火すると〈フラッシュ・オーバー〉現象が起こり、一気に火の海と化します。

三～一〇分で起こるのでその前に消火するなり、避難することが大切です。

ちょっとの油断が……

油なべ火災がトップ　損害額は二百八十万円

町内では今年一月からこれまで四件の火災が発生しています。

火災の原因別にみると〝油なべ〟が原因の火災がトップ(二件)で、子供の火遊び一件、排気管過熱が一件の順となっています。

調理の途中、やむをえずなべのそばを離れるときは、必ず火を消すように心がけましょう。

火の元チェックはこんな所！

ガスコンロ

●電話や対応に出るときは必ず火を消す

●まわりに燃えやすいものはないか

石油ストーブ

●ふすま、カーテンのそばにおかない

●火をつけたまま給油や持ち運びをしない

●外出時や睡眠時は完全消火を確かめる

たき火

●風の強い時、空気の乾いている時はしない

●回りに燃えやすいもののない所でする

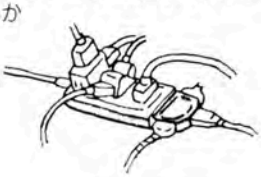
●水を用意し、完全消火する

電気器具の消し忘れ、切り忘れ

●使い終ったら、スイッチとコンセントを切る

●ひとつのコンセントからいくつもの電気器具を同時に使わない

●使っていないのに積算電力計が回り、ブレーカーが切れることはないか



暖かさが 恋しい季節です

火の取り扱いには十分注意を

〈火の用心　7つのポイント〉

1 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
2 子供には、マッチやライターで遊ばせない
3 風の強いときは、たき火をしない
4 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない
5 家のまわりに燃えやすいものを置かない
6 ふろの空だきをしない
7 ストーブには、燃えやすいものを近づけない

●秋季全国火災予防運動　11月26日～12月2日●

今月は国民健康保険税第四期の納期月です。

望岳園で草取り奉仕作業

民生委員協議会

民生委員協議会(田中実会長)の会員二十人あまりが九月二十七日、望岳園を慰問し、花壇や施設の周りの草取りを行い喜ばれました。

民生委員協議会では、毎年老人福祉週間の行事として望岳園などの慰問を続けており、今年は初めて労働奉仕を行いました。

会員らは、クワやカマを手に三時間あまりかけて植木の手入れや草取りに汗を流しました。

きれいになりましたネ

孫の相撲に大声援

西反土・川原自治会の十五夜

九月二十九日は十五夜。各地でさまざまな行事が、地区民総出で盛大に行われましたが、西反土・川原自治会でも子供やお年寄りなど百人あまりが集まり、月明かりの下、綱引きや相撲大会が行われ夜遅くまでにぎわいました。

相撲大会が始まるころには、まん丸い月も顔を出し、尾崎泰彦君と信祐一郎君が土俵清めの儀式を行った後、チビッ子や小・中学生が手に汗握る大相撲を披露。中には〝物言い〟がつくきわどい勝負もあり、行司も汗だくになっていました。

また、土俵のすぐ下に設けられたお年寄りの席からは、孫の塩をまくかわいいしぐさや大相撲に大きな声援がとんでいました。

手に汗にぎる大相撲

啓もう活動を進めよう

姶良伊佐支会指導者研修会

明るい選挙推進協議会姶良伊佐支会の指導者研修会が十月四日、約百人が参加して蒲生町中央公民館で行われました。

研修会では、黒葛原謙先生が「政治の動向と選挙について」と題し講演した後、西迫雅子さんら七人が登壇し「お金のかからない選挙実現のために」をテーマにパネル討議が行われました。

パネル討議では「候補者等の寄附禁止が公職選挙法にうたわれているが、日常のつきあいの延長として安易に寄附をたのむ選挙民も多い。もっと啓もうに努めよう」などの意見が出されました。

意見発表を行う西迫雅子さん

お母さんしっかり

お茶の水女子大学教授
附属幼稚園園長
外山 滋比古

おとぎ話の世界

ある童話作家が幼い娘さんに浦島太郎を話して聞かせたところ、その子が

「龍宮の乙姫さま、きらい！」

と言ったそうです。なぜ、と聞くと

「プレゼントをくれておいて、あけてはいけないなんて、意地悪。きらい！」

と答えました。親の童話作家はこの子の反応にひどく心を打たれた、と書いていました。

すこし考えが違っているのではないかと思います。

おそらく、おとぎ話のはなしかたがよくなかったのでしょう。おとぎ話は浮世ばなれしていなくてはなりません。日常と混同しては困ります。

そのためにはことばの調子も、ふだん使っているのと違っている必要があります。

「むかし、むかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがおりました……」と、やや改まった口調で話します。

「むかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがいたんだって……」だと、子供は話が現実のものかと誤解します。よそ行きの言葉を使って、特別なお話しの国のことだということをはっきりさせなくてはなりません。

乙姫さまを意地悪だと言った子供は、浦島太郎の話をこの世のことと思い、乙姫さまをどこかのおばさん、玉手箱をデパートの包みのように勘違いしていたのでしょう。

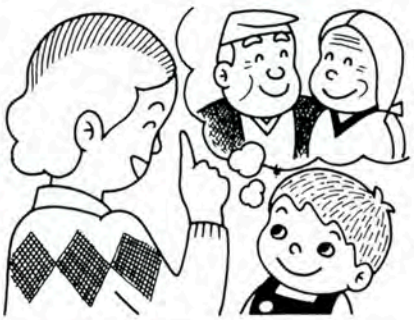
話し方がよくないから、そういう混乱がおこったのです。

乙姫さまは意地悪なのではなく、人間にはしてはいけないことがあり、それなのに、しないではいられないものだということを教えているのです。子供にそんなことはわからなくて結構です。

日常の言葉と少し違った言葉の世界がある――これを教えるのがお母さんのおとぎ話です。

子供の頭はこの言葉でよくなります。

たかがおとぎ話、と言ってはいられません。



母校の柁城小に五百万円を寄贈

故大迫善蔵さん

本町出身の故大迫善蔵さん（昭和五十八年二月死去）が、生前「母校に寄附したい」と話していた遺志を継いで、神奈川県の大迫信吾さんの妻、彩子さんと大迫ケサミツさん（本町）が十月十四日、柁城小学校を訪れ、五百万円を安田校長に寄贈しました。

大迫善蔵さんは、明治二十七年生まれで、明治三十八年に村立柁城尋常高等小学校高等科を卒業。十六歳のころ上京し、日本橋付近の店に奉公しながら、ランプの技術開発に取り組み、画期的な発明で富を築かれました。

安田校長は「善蔵さんの母校愛が生きる形で活用したい」と語り、十月二十一日の全校朝礼で児童にも報告しました。

善蔵さんの遺志を母校に（大迫さんの家族）

かしの木の会員15人が筋ジス病棟を慰問

料理を通じ健康づくりを進めている「かしの木」の楠元光子さんや会員十五人が十月十八日筋ジス病棟を慰問しました。

この日は、包丁をカマやクマデに持ちかえ、二時間あまりかけて、花壇や中庭の草取りに汗を流し、きれいに清掃しました。

草取りに汗を流す

柚木満さんの豚が優秀賞

第34回 県畜産共進会

第三十四回県畜産共進会が十月七、八の両日、宮之城町・薩摩家畜市場で開かれました。

本町からは、柚木満さん所有のヨハネスオンワードユノキ号が、ランドレース・大ヨークシャの部に出場。十五頭で発育や資質を競い、優秀賞に輝きました。

優秀賞を獲得

すばらしい演奏で観衆を魅了

鹿児島大学学友会吹奏楽団

県総合芸術祭・吹奏楽巡回公演が十月二十七日、加治木中学校体育館で行われ、すばらしい演奏が集まった約七百人の観衆を魅了しました。

これは、県と町の教育委員会が町文化協会、地区公民館連絡協議会の協賛で開催したもので、宮永智洋さんの指揮により鹿児島大学学友会吹奏楽団（武田恭一主将ほか五十五人）が「海を越えた握手」や「日本民謡メドレー」「松田聖子ヒットメドレー」などの演奏を披露しました。

また、「四季の歌」を伴奏に合わせて会場のみんなで歌ったり、クラッシックのメロディにのせて楽器の紹介も行われ、集まった人たちは、一つ一つ特徴のある音色に熱心に聞き入っていました。

集まった観衆は演奏が終わるたびに盛んな拍手を送り、芸術の秋をたんのうしていました。

芸術の秋をたんのう

全国書道検定に合格

日本教育書道連盟主催の検定試験が、九月二十日行われ次のかたがたが合格されました。

◎教育部（小・中学生）

三段　満尾めぐみ　田中ともみ
二段　伊達ゆかり
初段　新村真紀子　今薗美保
今村真理子　古市志信
青木ゆかり
一級　中村直康　増田香織
蓬原則行
二級　常盤裕代　松葉瀬春美
枝次真理　稲留大輔
神薗隆行
三級　池田美穂　松葉瀬洋美
久保文則
四級　押川大輔　細山田明美
五級　内村由美　郡山理恵
阿部和美　緒方佳月
六級　松林妙子　杉田雄一朗
常盤糸保　常盤　真
高橋弥生　中村幸祐
宝蔵咲子　桃木野誠
大迫由香　山下将己
国本あかね
七級　中川勝徳　大迫俊貴

大相撲加治木場所

逆鉾・寺尾関など井筒部屋力士が来町

とき　12月6日(金)　7時～15時

ところ　町営グラウンド

錦江第三地区が優勝

第三十七回 町民体育祭

秋晴れの下、第三十七回町民体育祭が「体育の日」の十月十日、町営グラウンドで開催され、地区民の盛んな声援を受け二十四種目に熱戦が展開されました。

今年は、総合得点百七十八点を獲得した錦江第三地区が優勝。注目の躍進賞は、昨年の順位八位から五位へ躍進した城西地区が獲得しました。

また、昼食時間を利用して、今年一年社会体育活動に貢献された団体や個人に東國雄大会会長から表彰状が贈られました。

体育祭の成績は次のとおりです。（○内は昨年度の成績です。）

優勝　錦江第三地区　十五点　⑥
二位　錦江第一地区　十二点　⑤
三位　城南地区　十点　③
四位　城東地区　八点　②
五位　竜門地区　六点　①
六位　城北地区　五点　④
七位　城西地区　四点　⑨
八位　永原地区　三点　⑧
九位　錦江第二地区　二点　⑦

地区民の声援を背に

なかなかはいりません

社会体育では城東が一位

社会体育年間成績は次のとおりです。（○内は昨年度の成績です。）

一位　城東地区　六十三点　②
二位　城北地区　四十八点　①
三位　永原地区　四十四点　⑥
三位　竜門地区　四十四点　③
五位　城西地区　四十三点　⑧
六位　錦江第一地区　三十九点　⑤
七位　錦江第三地区　三十点　③
八位　錦江第二地区　二十三点　⑨
九位　城南地区　二十点　⑦

萩原子ども会に栄冠

第8回さわやか少年ソフトボール大会

ソフトボールを通じ、異年齢集団の中で助け合う心を培おうと第八回さわやか少年ソフトボール大会が九月二十九日、加治木中学校グラウンドで開催され十七の子ども会チームが参加しました。

これは、町子ども会育成連絡協議会が、南九州コカ・コーラボトリング㈱やソフトボール協会の協力を得て実施しているもので、小・中学生がいっしょになって熱戦を展開しました。

結果は次のとおりです。

▽優勝…萩原子ども会▽二位…諏訪子ども会▽三位…岩原西子ども会、楠園子ども会

優勝した萩原子ども会

青少年の豊かな心を育てよう ㉝

青少年教育

鹿児島・加治木の流れ（その14）

『第2郷中教育・学舎の成立』

「学舎」は郷中の後進といわれ、郷中教育の伝統を明治の新しい学制下の学校教育に生かしたのが、学舎の教育といわれています。

江戸後期の儒学者頼山陽が入薩した折、新納忠元の兵児謡をもとにした「前兵児謡」

衣は骨に至り袖腕に至る、腰間の秋水鉄をも断つべし
人触るれば人を斬り、馬触なれば馬を斬る
十八交りを結ぶ健児の社
……

を作りました。ここに、薩摩の兵児二才像とともに、「健児の社」が「学舎」の語源となっています。

「二松学舎記」によると、郷校で学び、帰宅して加治屋町の古家や集会所等を利用していました。

明治九年に共立学舎をはじめ西南の役を前後して、鹿児島市だけでも十三学舎の創立がみられました。

学舎の設立趣意書が出され、「変則学舎設立の意見書」と題して

（上略）夫れ正則の学校たるや学科及び年齢等にも自ら正則の定則あるを以て、随意学科に従事する能はざるは、僉な人の了知する所なり。是に於て吾輩の希望する所のものは正則校の外に一の変則学舎を建設し、正則就学の生徒は勿論、学齢外の長幼をして随意に就学せしめ、適宜の科目を設け、厳に之を誘導し、孜々として学術を研究し、駸々として知識を暢達し、而して亦徒らに光陰を消費する徒なからしめんと、曾て熟望する所なり（以下略）

に見られるように、正則学校と併立され、地域学習の場として設立されました。

方限だけでなく広い地域を対象に、町方の子弟も含めてなされたところに特徴があります。

109チーム、325人が技競う

第18回義弘公奉賛弓道大会

第十八回義弘公奉賛弓道大会が、十月二十日日木山の精矛神社境内で開催され、県内各地から百九チーム、三百二十五人が参加し、日ごろ鍛えた技を競いました。

団体の部の結果は次のとおりです。

◎中学男子の部
優勝…重富中A▽二位…重富中B▽三位…帖佐中E

◎中学女子の部
優勝…重富中A▽二位…重富中C▽三位…重富中I

◎高校男子の部
優勝…加治木工業H▽二位…加治木工業B▽三位…鹿商B

◎高校女子の部
優勝…加治木高校▽二位…蒲生高校B▽三位…牧園高校A

◎一般の部
優勝…松籟館A▽二位…大口B▽三位…県庁

日ごろの練習の成果を発揮

郡身障者スポーツ大会で初優勝

第二十二回姶良伊佐地区身体障害者スポーツ大会が、九月二十七日牧園町・高千穂小学校グラウンドで開催され、本町チームが念願の初優勝を獲得しました。

大会には、岩川一男さん（上肢障害者）ら二十六名が参加し、ボーリングや輪入れ、百㍍走など二十六種目の競技に挑戦しました。

なかでも、一チーム七名で編成する「総合リレー」では他を圧倒し初優勝に輝くなど各種目で好成績を修め、初の「総合優勝」の栄冠を勝ち取りました。

念願の初優勝

歴史の旅 5

千鳥塚の由来

今回は、加治木中学校の西側、網掛川に架かる千鳥橋のたもとにある塚を訪ねてみましょう。

町の中央を流れる網掛川は、過去何回となくその流れを変えていますが、現在の姿に幾百年前になったかは別の機会に調べることにして……。

義弘公死去に際し、七人が殉死したのが実窓寺磧（網掛川の河川敷地）で、今から三百六十五年前の元和五年（一六一九年）八月十六日のことになります。

当時、網掛川は木田本通線の辺りを流れていました。

切腹した所は、川の東側で、朝八時半ごろです。（故田丸七太郎氏談）

千鳥橋の西側入口の道路脇に一見、変哲もない石碑が建っています。これが千鳥供養塔（千鳥塚）です。

碑文には「寛政八年辰年冬十建」とあり、一七九六年（百八十年前）に建てられた高さ一㍍三十五㌢、横四十五㌢の加治木石の石碑です。

昔、殿様は大変狩りが好きで、また、鉄砲の腕も上手でした。

猟場は、網掛川と宇曽ノ木川の合流点、現在の農協育苗センター付近の川で、鳥がたくさんいたそうです。最近までうずらやかもなどがいましたが、今は一羽も見かけません。

ここに鳥の供養のため、領主島津錦水公が建てた塚で、俗に千鳥塚と言います。

現在も、「どこ行きな」とえさつ（あいさつ）すれば「千鳥塚ん田んぼに行っかたごあんさ」と……。

塚にまつわる昔話を一つ…。

殿様は、一発で鳥の頭を撃ってしとめるほど上手でしたが、供に鳥八というのがおり、殿様に「鳥は、下あごを射なければいけない」と進言しました。

なぜなら、上あごを射ると鼻の穴を通して腰にぶら下げることができないからです。これ見よがしにと、最近まで見かけたものです。鳥八は、一発で下あごを射抜く名人だったそうです。

「ちどりばし」は誤りで「せんとりばし」が正しい呼び名です。鳥が千羽、すなわちたくさんいた所、と解釈すれば良いでしょう。

千鳥塚の碑

実窓寺磧

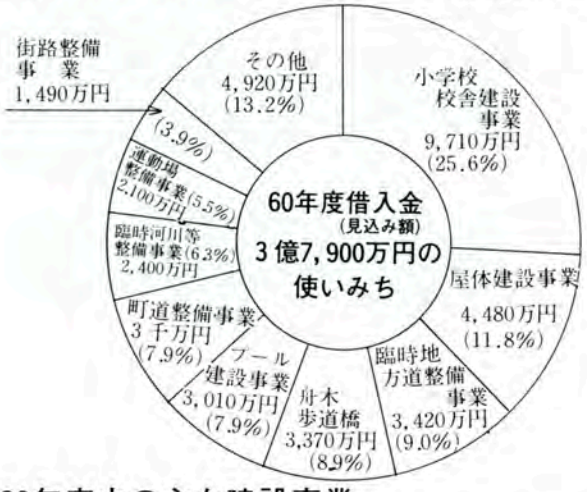
水辺に群れる哀調の声　今にとどむる千鳥塚の碑

歌詠（即興詩人）小六の「とんち話」の昔話を交えた〝歴史の旅も……。前玉（農協北側の田んぼ）に近いうちに足を運ぶつもりです。（木田・吉村次男）

60年度(4月～9月)わが町の家計簿公表

町民1人が背負っている町の借金	16万7,426円
町民1人が納める町の税金	6万239円
町民1人に使われる町のお金	19万7,340円

町の借金は38億8,964万7千円 (60年度末現在 高見込み額)

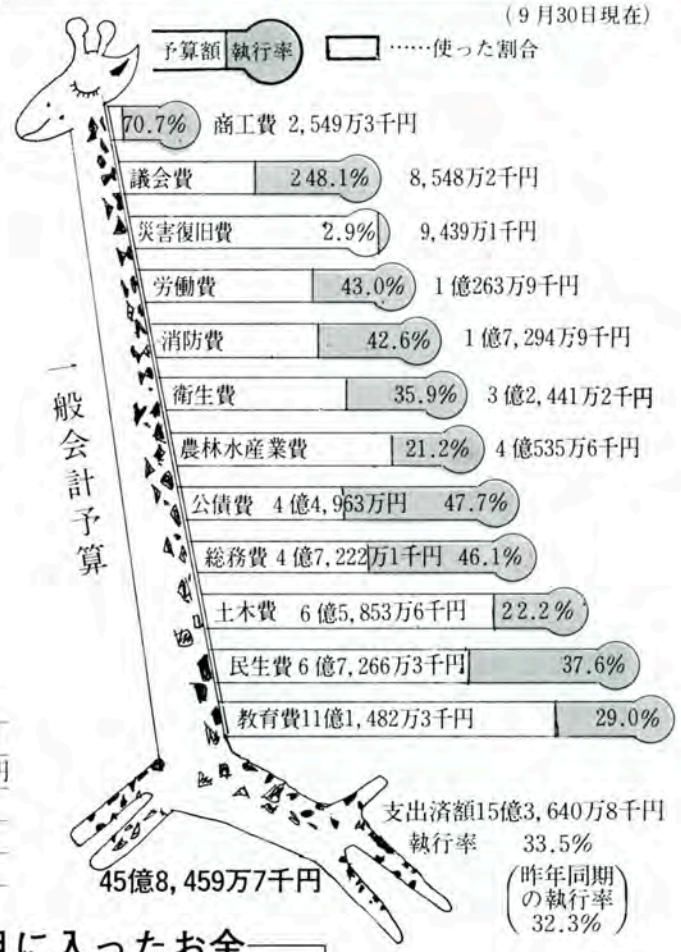


60年度中の主な建設事業

▷小学校建設事業 6億8,950万2千円　▷仮屋馬場通線 1億5,900万円
▷農業構造改善事業 8,549万6千円　▷小山田線道路新設改良工事 6,500万円
▷農村基盤整備事業 4,747万円　▷木田本通線 4,500万円
▷舟木歩道橋 4,500万円　▷臨時河川等整備事業 2,400万円
▷県単土地改良事業 1,900万円　▷臨時地方道整備事業 3,600万円

60年度4月～9月に使ったお金

(9月30日現在)



60年度4月～9月に入ったお金

(9月30日現在)

一般会計予算額　45億8,459万7千円
収入済額　20億2,102万3千円
収入率44.1%
(昨年同期の収入率 48.1%)

町税	地方交付税	国・県支出金	町債	繰入金	その他
13億9,948万4千円	10億3,102万6千円	8億7,790万3千円	3億7,870万円	2億1,495万2千円	6億8,253万2千円

一般会計予算

"人権"について考えてみましょう

12月4日～10日は「人権週間」

世界人権宣言が誕生した十二月十日の「人権デー」を記念して、十二月四日からこの人権デーまでの一週間を「人権週間」としています。

この機会に、あなたも「人権」について考えてみてください。

法務省と全国人権擁護委員連合会では、次のことを強調事項としています。

◎「人権の共存」――互いに相手の立場を考えて、豊かな人間関係をつくろう――
◎部落差別をなくそう
◎婦人の地位を高めよう
◎障害者の完全参加と平等を実現しよう
◎いじめをなくして、明るい友達関係をつくろう

▼ご相談は、人権擁護委員へ…

宮城俊治　錦江町一九〇
（電話六三―三七八七）
田中重男　仮屋町六四
（電話六二―二二六〇）
中摩多美子　反土二七五六
（電話六二―二七六八）

地域とのふれ合いを深めよう

レディースバレーボール大会を開催

加治木郵便局

熱戦を展開

「郵便局と地域とのふれ合いを深めよう」と加治木郵便局の主催で、初めてのレディース・バレーボール大会が十月二十六日、町営体育館で開催されました。

大会には、お母さん方で結成している七チームが参加。日ごろの練習の成果を余すところなく発揮し、熱戦を展開しました。

試合は、Aクラス三チーム、Bクラス四チームに分かれ、総あたりで行われました。

結果は次のとおりです。

◎Aクラス優勝…柁城クラブ
◎Bクラス優勝…錦江同好会

139人が昇段試験に合格

剣道昇段審査

県剣道連盟加治木支部（増田昌弘支部長）が主管する剣道昇段審査が九月十六日、町営体育館で開催され、鹿児島市や郡内から集まった百七十人が、日ごろ鍛錬した技を披露しました。

また、審査に先立ち講習会が九月八日、町営体育館で行われ百五十人が指導を受けました。

▽初段合格者　六十二人
▽二段合格者　四十九人
▽三段合格者　二十八人

農林水産大臣から感謝状

中野光雄さん・汰木文良さん

農林水産省が行っている「米の生産費調査」の対象農家として五年間、調査に協力された中野光雄さん（辺川下）と汰木文良さん（辺川中）のお二人に、統計の日の十月十八日農林水産大臣から感謝状が贈られました。

お二人は、水稲作の作業の始まりから販売までの間の金銭や労働力のやりとりを記帳、報告する調査を続けてこられ、その功績が認められたものです。

薬草知られざる効き目 ㉖

センブリ

センブリは、リンドウ科の二年草で、草丈二十～二十五㌢、日当たりの良い草地に自生するが、北面の傾斜地で日の当たらないところにもよく生えています。

日本・朝鮮・中国に分布。花期は十月～十一月で、このころが採取に適しています。

古い時代は、のみやしらみを殺す殺虫剤に使われていたが、腹痛に使い出したのは江戸時代の初期からで、千回振り出してもなお苦みが残るので、センブリといわれるようになりました。

猫にマタタビといわれるが、やや反応は弱いながら、センブリの苦みにもじゃれつくのです。その因果関係は不明…。

近年、発毛剤に活用されるようになってから、価格が千培になり各地で栽培が試みられているが、未だ成功の例がない。

秋、花の盛りのころ、全草を採取して、日干しにします。

一本を小さく折り、熱湯を注ぎ食後三十分ほどして飲むと、健胃の効あり。胃や腸の痛みにもよろしい。しかし、ひどい冷え症の方にはむかない。

円形脱毛症（台湾ハゲ）に、センブリ酒（ホワイトリカーに、その三分の一ほどのセンブリを入れ三か月ほどでできあがり）を少量ずつすりこむ。気長に続けると良い効果があるそうです。

紫色の花をつけるのが、ムラサキセンブリで、効力ははるかに劣ります。

採りたてのセンブリを、そのままウイスキーびんに入れ、しょうちゅうを注ぎ込む。水中花の趣があって楽しい。

千振りを

干しては人にくれるかな　三子

（筆者、県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、ご遠慮ください。

竜門の会

水引草陶房に朝の茶を賜ふ　鶴田　耕
稿の筆遅々たり朝の鵙猛る　川崎　黒兎
洞深く長寿の清水汲みにけり　内田美津代
日の斑降り岸辺つぶやく秋の海　柳田　稔
鄙びたる湯宿の庭の実むらさき　川上　節子
秋雨や高塀の陶土の無縁墓　高木　正男
戻りし棚田づたひの落し水　古江　重美
高原を這ふ薄雲や花芒　加藤　白柳
万歩計素足に草の露を踏む　恒吉　斗南
畳替調度は古くなりけり　佐々木かすみ
点滴の雫見つめて秋の雲　横山　江南
定刻に吹く蟬のあり夕端居　竹山　洋子
聞こえくる廃寺の噂ちちろ鳴く　鬼塚　ふみ
灯を消せば供物が浮ぶ月明り　井之上透山

記事訂正とおわび

十月号の二ページ「小学校の通学区域図」の中で、布越自治会の一部が柁城小学校区になっていました。

布越自治会は「竜門小学校区」です。おわびいたします。

お知らせ

町有地を売却

町有地の一般競争入札を次のとおり実施します。

一、**入札物件**　朝日町四四番、外二筆宅地一、〇五四・五三平方㍍（三一八・九九坪）公簿

二、**入札**　日時　十二月七日㈯　午前十時参加締切　場所　役場・第一会議室

◎問い合わせ先　総務課・管財係（☎六二―二一一一、内線六四）

加治木小学校の校章と校歌を募集

加治木小学校は柁城小学校の一部と、錦江小学校を二分割し、六十一年四月に開校します。

未来に躍進する加治木小学校の未来にふさわしい校章、校歌を創作してお送りください。

◎**校　章**

はがきに単色（白黒）で描き、デザイン（図柄）の意味を説明書きすること。

▽謝礼　入選　一点　五万円

◎**校　歌**

三連にまとめ、封書で送付すること。

▽謝礼　入選　一点　十万円　佳作　二点各三万円

いずれも未発表のものに限ります。

選考委員会で一部修正することもあります。ご了承ください。

■**締め切り日**　十二月十四日㈯

■**送付先・問い合わせ先**　加治木町教育委員会　庶務課　電話六二―二一一一　内線四十四番、四十五番

鶏のつかみどりなど盛りだくさん

第7回農業祭

「あぜ道の声を積み上げ、豊かでぬくもりに満ちた村づくり」をテーマに、第七回町農業祭が開かれます。

当日は、十時から町営体育館で「体験発表」や「表彰」が行われるほか、やさい・特産物の展示即売や「鶏のつかみどり（三百羽）」「馬に乗って見ませんかコーナー」など各種の催しが行われます。

ぜひ、おでかけください。

■**とき**　十一月二十三日（土）　午前十時から午後三時

■**ところ**　町役場、町営体育館　町役場グラウンド

中小企業で働くみなさん

労金の融資が受けられます

中小企業や商店などで働く皆さんにも、労信協の債務保証で労働金庫の融資が受けられる制度があります。

お気軽にご利用ください。

◎**融資を受けられる人**

中小企業や商店などで働いている人で、同じ職場に三年以上勤めている人。

（但し、生活ローンの申し込みは一年以上の人）

◎**融資の種類**

緊急生活ローン、生活ローン、教育ローン、不動産担保ローン、住宅ローン

◎**申し込み・問い合わせ先**

鹿児島県労働金庫　加治木支店（電話　六三―一一五五）

教材費にと百万円寄贈

南日本電気工事㈱

「錦江・竜門両小学校の教材充実のため役立ててください」と、南日本電気工事㈱の畠田輝保代表取締役が十月二十四日、町に百万円を寄贈されました。

これは、木田の事務所を小山田に移転、新築した記念にと寄附されたもので、町では学校教育の充実のため活用することにしています。ありがとうございました。

うぶ声

出生児	保護者	自治会
榎並　綾子	潤一	弥勒
下楠薗拓也	充	小烏
別府　芳弘	三男	赤坂
山口　洋介	悟	東雛場
下平　正敏	譲	高井田
下平　祐太	譲	高井田
神田橋由衣	満	垂ノ口
向江　政貢	正樹	菖蒲谷下
田中　彩子	茂樹	中浜
原口　晴香	浩三	吉原
川畑　美乃	雅裕	田中
鶴井　力弥	正明	江口団地
小川　まみ	恵	赤坂
森永　詩織	浩一	赤坂
西濱　春香	春一	中野
山口　香奈	光明	赤坂
大迫　奏枝	生雄	赤坂
奥　優希子	誠	内原田
深見　麻衣	賢治	西江口団地
吉野　啓太	光一	春日団地
内村　孝平	孝宏	楠園
政田　清孝	智治	毛上

▽十月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝**町社会福祉協議会へ**＝

二万円　東諏訪　南　登（妻　良子四三）
五万円　札　立　城内ケサクイ（夫精一六二）
二万円　田　中　中野ヒロ子（母　高畠ヒデ七七）
二万円　西ノ原　花牟礼フミ子（夫次男六五）
三万円　長　谷　屋所敏夫（母　ミツ八八）
五万円　西諏訪　森　隆義（妻　マサ六六）
二万円　中塩入　尾形惟光（父　惟孝九二）
十万円　柳　田　桑幡元兼（父　元長八一）
三万円　下　嶽　前畠春雄（母アグリ四四）
三万円　中福良後　山崎篤男（妻律子五三）
二万円　天　神　豊村ミキエ（夫篤彦七八）
二万円　桑　迫　国生　勉（母　シゲ七六）
三万円　中　央　湯浅道雄（母　フヂ八六）
一万円　菖蒲谷下　外村弘（妻　作野六六）
二万円　川　内　石橋　登（母ケサギク八二）

＝**町育英奨学資金へ**＝

五万円　柳　田　桑幡元兼（父　元長八一）
二万円　西諏訪　森　隆義（妻　マサ六六）

▽十月二十日までのご寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）